



危険な状況に陥る前に早めの行動を

台風などの気象現象は、地震とは異なり、前もって確認出来る情報がたくさんあります。早めの行動をとるためにも情報を収集するのがとても大切です。テレビやラジオ、防災無線の他にも、ネットやSNSなど様々な情報媒体から収集しましょう。「ここまで水が来たことがない」と過去の災害と比較し、安堵することは危険です。常に最新の情報を収集し、最悪な状況を考えて備え、全てにおいて早めに行動しましょう。

特別警報が発表されたら、ただちに命を守る行動をとってください！

特別警報が発表されたら

- ・住居の位置や構造、災害の状況によって「自宅外避難」の必要性は異なります。周囲の状況に応じて冷静な判断を行ってください。
- ・「自宅外避難」が危険と判断した場合、無理に避難せず家の中のより安全な場所にとどまってください。
- ・避難所に避難した方が安全と判断した場合は、すぐに避難してください。

特別警報の種類と現在想定されている基準

- ・大 雨…台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、もしくは数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合
- ・暴 風…数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合
- ・高 潮…数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高潮になると予想される場合
- ・波 浪…数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高波になると予想される場合
- ・大 雪…数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合
- ・暴風雪…数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合

注 意 報

- ・最新の情報を確認
- ・災害に備え早めの準備を
- ・非常持ち出し品の準備

警 報

- ・自治体が発表する避難に関する情報に注意し、早めに避難
- ・特別警報が発表されていなくても早めの行動を心がける

特 別 警 報

ただちに命を守る行動を

- ・外出が危険なときは、建物内の少しでも安全な場所に移動
- ・冷静な判断を心がけ、周囲の状況に応じた行動をとる

■問い合わせ■ 消防本部 ☎54-0119